

高齢者支援について

村田俊太郎 議員

問 ①窓口で困らないための軟骨伝導イヤホンの設置状況と今後の取り組みについての考えは？

②介護認定申請から認定までの時間短縮のため、新システムを導入するが、現在の認定までの時間と新システムの稼働見込みは？

答 ①現在、介護福祉課の窓口には1台設置しております。今後は、高齢者の方の利用頻度が高い窓口や社会福祉協議会窓口を含め、設置にむけて検討します。②認定までの期間は制度上30日以内ですが、現在、平均で36日から38日程度要しています。調査員支援システムは10月から、審査会システムは来年4月から稼働予定です。

・他の質問項目：スポーツの推進について

①PTA・学校徴収金について ②自治会役員の負担について 杉本 葵 議員

問 ①市内小中において統一化された会計運用を支援するため学校徴収金マニュアルを作成されてはどうか？
②職員による地区自治会長への補助金・つながり等配布費用の現金約2600万円の手渡しの紛失や盗難リスクを認識しているのか？ 透明性担保の為、振込へ変更しないのか？

答 ①作成に向けて検討してまいります。
②リスクという面もあると認識いたします。しかしながら基本的には、受け取っていただく各自治会の都合や希望により、現金での受け渡しという方法がとられてきたと認識しております。振込の場合、手数料の問題、また昨今、団体名義の口座開設が難しいという面もあり、自治会に負担になることも考えられます。

県域水道一体化について

北野伊津子 議員

問 3月議会で示された統合後当面の料金体系(案)を見ると、企業債は、国・県からの補助金がある10年間は減少していくが、その後上昇していき、30年後には、給水収益のほぼ3倍になる。補助金がなくなってからの経営に不安を感じるが、どのような見通しか？

答 10年間の国の交付金・県の財政支援の後には、企業債の借入などを活用し、過度な値上げにならないよう検討がなされます。30年より先の検討は、今後の物価変動や人口減少、投資の進捗など実際の変動要素を加味し、適切な時期・適切な形で検討がなされると考えております。なお、単独経営の場合も同じ条件で検討しております。

・他の質問項目：会計年度任用職員の働き方について

小学校給食について

乾 充徳 議員

問 学校給食の現状と地元食材の地産地消、地元農家との連携についての現状、他市町村の給食費無償化の状況は。本市の小学校給食費の無償化は実施できないか。

答 「子育て支援」・「教育環境」の充実を図るため、本年度より中学校給食費の無償化を実施しました。また、地産地消を推進するため、地元農家と連携を取りながら、市内産の食材を使用する「大和郡山の日」を月に平均3～4回実施しています。県内の給食費無償化の状況は、8村が実施済であることに加え、2市1町が実施または実施を検討しています。小学校給食の無償化は大きな財政負担を伴うため、市単独での実施は難しく、今後も国や県の動向を注視していきたいと考えています。

①学校施設の管理体制について ②学校現場の人員充実について 金銅 成悟 議員

問 市内の公立園校の草引き、樹木の剪定、伐採、運動場の整備、砂場の手入れ等、施設を維持管理するため、再任用の経験豊富な職員20名ぐらいの体制で学校管理部を新設できないか。緊急を要する樹木の管理や老朽化が進む体育館の補修について今後の対応と計画はどうか。

答 再任用職員は業務を効率的に行うために経験のある職場を中心に配置を考えており、学校施設管理部門の新設は難しいが、学校施設管理については予算措置や外部委託を含め再検討したいと考えている。樹木管理については危険性や緊急度等、現場状況を確認し必要な対処方法を考えていく。小学校体育館床については、状況の悪いところから一年でも早く完了できるよう取り組んでいく。

大河ドラマ「豊臣兄弟！」に向けた取り組みについて 鈴木 健嗣 議員

問 2026年の大河ドラマが本市にゆかりの深い豊臣秀長を主人公にした「豊臣兄弟！」に決定したことにより、観光客の受け入れ体制をはじめ、大河ドラマ館などの具体的な事業、秀長ゆかりの自治体間での広域連携についてお答えください。

答 歴史上の名脇役である大和納言・秀長公に主役としてスポットが当たったことに大きな意義を感じており、新たに創設した大河ドラマ2026係を中心に検討を進め、こどもから大人までのシビックプライド向上や歩いて魅力を感じられるまちづくりなど、様々な事業を展開したいと考えています。また、全国の秀長ファンやゆかりのある自治体とも連携を図っていきたいと考えています。